



ああ 出雲郷小は よいところ

充実した2学期に「挑戦！」

10月に入り、気候も過ごしやすくなりました。2学期に入り各学年とも充実した学校生活を送っています。2学期の始業式に話をした「挑戦」する自分を学校行事や学習で見せてほしいと思います。今月号は、各学年の様子を学級だよりよりあだかえっこの様子を紹介したいと思います。

1年部 9月22日 行事 遠足

なかよし遠足に出かけてきました。天候に恵まれ過ごしやすく、こどもたちは遠足を満喫しました。奥出雲多根自然博物館は、恐竜の化石や海の中の生物の化石、鉱物などが展示してある施設です。こどもたちが興味を持って見学することができるか少々不安でしたが、「先生、見て見て。」「先生、ちょっと来て、これを見て。」等、ちょっと興奮した様子で話しかけてくれ、とても楽しんで、興味をもって見学できました。



2年部 10月10日 生活科「町たんけん」

今日は町たんけんの本番の日でした。今日の日を楽しみにしていたこどもたち。元気いっぱい出かけて行きました。各グループ、いろいろなことをさせてもらったようです。この日のために練習を頑張りましたので、達成感のある顔をしていましたよ。どんなことを見て、聞いたのか、お家でたくさん聞いてみてください。



3年部 9月30日 社会「干し柿づくりのお話」

干し柿の生産者である地域の方をお招きし、東出雲町の名産であるまるはた干し柿についてお話を聞きました。スライドを見ながら、干し柿づくりの歴史、お仕事の内容や工夫について学びました。写真は、接ぎ木の実演をしておられる場面です。

最後に質問にも答えていただきました。暑さのために奇形の柿が増えたこと、温度管理が年々難しくなっていることが、一番大変だということです。一晩でカビが来て全部捨てることになり、これまでの苦労が水の泡、ということもあったそうです。こどもたちは、みんなノートいっぱいにメモを取っていました。



4年部 10月9日 社会「佐藤忠次郎さん」

東出雲はどうして工業の町として発展してきたのか、また、その発展に大きく貢献している佐藤忠次郎さんについて、詳しく学んでいきます。木曜日には特別講師に学校運営協議委員さんをお招きして、脱穀体験を行いました。佐藤忠次郎さんが発明した稲麦こぎ機と、それまで使われていた千歯こぎの2つを体験し、比較しました。2つを比べてみて、どう感じたでしょうか？ こどもたちの気づきを生かして、学習を進めていこうと思っています。



5年部 10月10日 行事「壮行演奏会&連合音楽会」

★この壮行演奏会には5年生に課せられた大きな役目があります。それは、6年生はもちろん、1～4年生に音楽の素晴らしさ、楽しさを伝えることです。そして何よりも来年度、連合音楽会に挑戦する4年生の心に火をつけることです。「すごい！自分たちも来年こんなふうになりたい！」という気持ちをもたせることです。以上のような話をして、みんなで体育館練習に行かれました。

★1学期に行った楽器オーディションから始まり、夏休みの練習も乗り越え、2学期もたくさん練習してきました。毎日のように音楽室に行って練習したり、教室で友達と分からないところを教えあったりしていました。日々成長していくこどもたちを見て、どんどん本番が楽しみになってきました。このあと、いよいよ本番！こどもたちのカッコいい姿をぜひ見てください!!!



連合音楽会の様子は松江ケーブルビジョンで

11月30日20時(予定)より放送されます。

6年部 10月10日 家庭科「エプロンづくり」

家庭科の時間にエプロン作りをしています。エプロン作りの学習がある日は、普段1時間だけの家庭科が2時間連続になり、ミシンボランティアの方にも来ていただいています。手順が分からなかったり、ミシンを使っていたらいつの間にか下糸がなくなっていたり、仮縫いの上から縫ってしまったり仮縫いの糸が外せなくなったり、色々困った場面で助けていただいています。素敵なエプロンができますように…!



雨が降っても風が吹いても雲の上はいつも青空

これは、郷土出身の児童文学作家「村尾靖子さん」の講演の中で言われた言葉です。村尾さんの担任の先生の言葉だったそうです。その講演は、感激しました。私は涙がとまりませんでした。なぜなら、講演当日、小学校時代のその担任の先生を招待し、切々と子ども時代のことをふりかえり『学校で教育される』ということのすばらしさを泣きながら語られました。その先生のこの言葉がなければ「今の村尾はいない」という講演でした。当時、新米教師であった私がどれだけ勇気づけられた講演であったのか……。もう33年ぐらい前の講演でしたが今も忘れられないということで理解していただけたと思います。今でも、仕事をしていて悩む時がたくさんあります。その時に、いつもこの言葉を思い出すのです。